

地域分権提案事業評価一覧(平成20年度執行)

池田地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
自主防災組織 設立準備事業	1,047,000	1,000,850	自主防災組織を設立するため、防災知識を身につけるための講座の開催や視察を実施する	・自主防災組織が無かったので防災意識向上の為施設見学と自治会へのアンケート調査 ・2組織/年 計6設立を目標	・4自主防災組織を設立	・各自主防災組織による住民参加の訓練を実施 ・未設置区域の設立機運が高まる
コミュニティ紙等 発行事業	238,000	238,000	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、地域コミュニティ紙を全戸配布する	・協議会の活動内容等を地域住民に周知する	・創刊号を含む5回発行	・多くの方に認知していただいた
地域掲示板 設置事業	590,000	588,000	地域内の掲示板を統一規格で作成することにより、町の美化につなげる	・使用不可、老朽化が目立つ ・新設の必要性	・街の美化につながる ・使用活用頻度の向上	・きめ細かく張り替えられている ・街の美観も良くなった
地域回覧板 作成事業	210,000	208,299	回覧板に地域コミュニティ推進協議会の役割や活動等を印刷し、情報回覧とともに協議会のPRに努める	・各自治会で独自行動 ・丈夫な使い勝手のよいものが無い	・適宜配付する	・協議会活動の周知と利用促進(11自治会活用)
公園灯強化事業	1,040,000	913,500	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、辻ヶ池公園に照明灯を設置する	・街路灯の不備及び防犯灯の照度不足が見受けられる ・防犯上に問題がある	・30ヶ所に新設及び取替え	・街が明るくなり安心して通行 ・公園周辺のポイ捨て、たまり場の解消
街路灯強化事業	3,433,000	1,774,538	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る			
計	6,558,000	4,723,187				

池田地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
自主防災組織 設立準備事業	・組織の機能強化として資機材 配備と訓練 の継続 ・組織間連携と啓蒙活動の継続	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会にアンケートを取る 各部毎でまとめる 協議会で最終まとめを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 地域分権の周知、協議会活動の紹介等独自の方法で進められ、一定の効果があった 防災施設の見学会により地域防災意識が高まり、自主防災組織の設立につながった 防犯関連事業は、計画的に進められている 地域住民の一層の参画を期待する 	阪神・淡路大震災に関する施設を見学することにより、自主防災組織を設立する機運が高まり、見学後4団体ができた 今後自主防災組織の活動に施設見学の体験が活かされることを期待する	市長公室 危機管理課
コミュニティ紙等 発行事業	・地域住民による事業提案参加型等の紙面づくりに工夫を			協議会の多面的な取り組みが紹介されている なお一層の制度周知に期待する	総合政策部 政策推進課
地域掲示板 設置事業	・使い勝手に配慮 ・雨風対策			地域コミュニティの核として、一端を担っている 今後のコミュニティの更なる発展を期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
地域回覧板 作成事業	・協議会の活動情報をタイムリーに知らせる			地域内で統一した回覧版が利用されている 11自治会以外にも周知していく事が今後の課題である	市民生活部 観光・ふれあい課
公園灯強化事業	・市からの具体的方法の例示を 各自治会の意向集約と事業調整 関係者(協、サポ、担当課)間の効率的な事務体制の確立			公園利用者の利便性向上とともに、安全性の更なる向上に 寄与する重要な取り組みであると思う	都市建設部 みずとみどりの課
街路灯強化事業				街路灯の器具交換・照度アップにより、地域内の夜間交通の 安全確保が図れている	都市建設部 道路課

細河地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
コミュニティ紙等発行事業	360,000	327,820	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民の理解と支援を得るため、コミュニティ紙を発行する	・協議会の活動内容等を地域住民に周知する	・3回発行、地域住民の4割は周知する	・活動から1年の期間で、住民の協賛を得られるようになった ・初期の目的を達成する
コミュニティ車運行調査事業	50,000	7,575	細河地域へのコミュニティ車導入について調査研究を行う	・地域住民の交通手段を確保 ・国等の支援体制等の研究	・住民生活に合った支援体制の具体的検討に入る	・事業化に向け関係機関との協議に入る
地域イベント支援事業	800,000	800,000	地域で開催される行事の充実・拡大により、地域住民の交流を推進するとともに地域の活性化を図る	・連合自治会主催の夏祭り(25年以上) ・舞台設備の老朽化への改善に窮地	・改善修理で安心して行事ができた	・舞台設備等の改善で雰囲気盛り上げる
観光振興構想策定事業	1,000,000	997,500	豊かな自然環境と、歴史と伝統が伝える地場産業等のポテンシャルを「観光」という切り口で新たな魅力を引き出す	・植木が売れない ・植木の街に活気が無い	・大阪大学と協働で地域構想の策定に取り組む(20、21年度)	・地域の特性(自然環境策)を活かした観光と地場産業の共同事業へ
ホームページ作成事業	170,000	169,750	細河の観光資源を開発しつつ、その魅力をホームページを通じて関西圏から全国に、さらには世界に発信する	・地域特性の資料を集める	・地域の魅力を発信するためにHPを立上げる	・11月から配信、観光協会等にリンク
地域活性推進事業	1,071,000	909,132	地域の自然環境や地場産業等の活性化を図るため、散策ルートと休憩所等を整備する	・元細河消防分団詰所の有効活用・散策路の機能回復	・協議会活動の拠点改修・草刈り、倒木処理等で通行を確保する	・活動の活性化と地場製品の展示、販売に発展 ・散策やハイキングの方が多くなった
高齢者等配食サービス補助事業	738,000	502,212	配食を必要とする高齢者等に弁当宅配のサービスを実施し、同時に見守り・訪問・声かけを行い、高齢者の社会参加を促す	・福祉事業で一部地域のみで実施、全地域に拡大を図る	・毎週、水曜日に40食程配食 ・ボランティアで事業サービスを行う	・利用者から好評 ・利用者は増加傾向
不法投棄監視看板設置事業	92,000	88,200	不法投棄の監視啓発看板を地域内の散策ルート等に設置する	・不法投棄が多い	・2ヶ所に設置	・設置箇所は不法投棄が無くなる
街路灯強化事業	1,019,000	965,026	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	・農作物に影響あることから設置制限有り・犯罪が増加の傾向にある	・設置当初は多少の違和感を聞く ・地域のイメージ色として明るい街を目指す	・設置要請が殺到する ・予想以上の効果が得られた
校庭芝生化事業	700,000	700,000	小学校の校庭の一部を芝生化し、緑化を促進する	・残された部分の芝生化を求められる	・地域住民に協働作業で呼び掛け、芝・土等を購入して実施	・学校関係者から好評を得る ・地域ボランティアで実施
計	6,000,000	5,467,215				

細河地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
コミュニティ紙等発行事業	・幅広い年齢層からの支援を得る	・各部会毎でまとめる ・協議会、役員会で最終まとめを行う	・協議会の多面的な活動取組みが各年齢層からの支援を得られた ・地域の資産・資源等を活かした取組みは地域の発展につながっている ・ブルーライト街路灯について、住民理解が得られた ・拠点開設は活動の広がりにつながっている	協議会の多面的な取組みが紹介され、また、地域全体で観光振興の気運を高めるため、地域の歴史・文化を紹介するなど、今後を見据えた内容になっている	総合政策部 政策推進課
コミュニティ車運行調査事業	・国及び関係機関への具体的な協議を進める(国:近畿運輸局)			基本的な方針を関係者とともに共有することが重要と考える 継続可能な事業の検討を期待する	総合政策部 政策推進課
地域イベント支援事業	・主催者側で運営する			細河地区のPRに貢献している 夏祭りの更なる発展に期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
観光振興構想策定事業	・有償ボランティア等の確保で来街者の受け入れ環境をつくる			観光推進調査(20・21年度)の結果を活用した今後の地域の発展に期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
ホームページ作成事業	・事業拡大に伴う容量オーバーや問い合わせの対応			地域行事や写真など、わかりやすいHPとなっており、今後の発展に期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
地域活性推進事業	・地域住民等の好評につき、施設が手狭である ・案内看板の増設や散策道整備の継続			細河みどりの郷案内所のオープン、散策道の整備により観光やハイキングの方等が増えてきて、予想以上の効果があらわれた	市民生活部 地域活性課
高齢者等配食サービス補助事業	・配食数、回数の増加に伴う調理施設の確保と低料金化への取組み			6月対象者24名での事業開始であったが、最大月は45名の配食を行い、当初見込み1回40食を超えるほどの成果を上げている 地域のニーズに合わせた事業の発展を期待する	保健福祉部 高齢介護課
不法投棄監視看板設置事業	・住民等の監視体制をつくりハード・ソフト両面で行う			視認性の高い看板により、不法投棄の抑止に効果を発揮しているものと思われる	市民生活部 環境にやさしい課
街路灯強化事業	・増設による管理費の負担に限界がある			街路灯の新設・照度アップにより、地域内の夜間交通の安全確保が図れている	都市建設部 道路課
校庭芝生化事業	・効率的な芝生の維持管理が必要			芝生化は「エコ化」の一環として、効果的な取組みである また本事業は、芝生化を通じた「学校を支える地域づくり」に貢献した 今後とも地域が芝生の維持管理の面で積極的に取組まれることを期待する	管理部 総務課

秦野地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
コミュニティ紙等発行事業	606,000	593,595	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民の理解と支援を得るため、広報紙等を発行する	・各団体単位毎の広報活動のみ	・3回発行 ・クリアファイルは資料配布時とギャラリー展示者に使用	・身近に活動内容を伝えられる ・クリアファイルは協議会のアピールにつながる
地域ギャラリー設置事業	2,795,000	2,415,000	情報発信・広報、住民や子どもたちの写真・絵などの展示場所として照明付きギャラリーを小学校南側に設置する	・地域全体として情報、伝達等の場が無い ・設置箇所の道路が暗い	・地域住民の展示作品の発表 ・夜間照明が明るく街灯効果もある	・沢山の方が興味深く見る ・夜間の歩行が安全に
交通安全看板等設置事業	786,490	743,263	校区内の路地や三叉路の危険箇所や公園出口等に交通看板を設置し、安全意識の向上を図る	・坂や細街路が多く、通学路として安全に対する意識、感覚に乏しい	・歩行者、運転者の安全意識を高めるようになった	・子供達の目線がストップマークに行くようになった ・追加設置希望が多い
交通安全看板等設置事業	718,510	718,510	校区内の路地や三叉路の危険箇所や公園出口等の電柱に交通看板を設置し、安全意識の向上を図る			
街路灯強化事業	2,094,000	2,027,534	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	・道路照明の老朽化と照度不足	・対象地域を設定して適切な照度アップを図る	・夜間の通行に安心感が生まれた ・道路標識、看板がよく見える
計	7,000,000	6,497,902				

北豊島地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
安心・安全な地域づくり備品整備事業	265,109	261,135	防災・防犯に関する備品を充実し、地域住民の連帯感を深める	・各地域単位のパトロールを実施。校区全域では無い	・部会を設立して、イベント等の警備の実施	・防犯グッズ等の着用でそれなりの効果あり
コミュニティ紙等発行事業	600,000	384,142	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民の理解と支援を得るため、広報紙等を発行する	・地域コミュニティについて理解が無かった	・5回発行、活動の周知、会員の募集等	・徐々に感心が高まってきた
旧北豊島公民館地域活用事業	2,880,000	2,646,314	旧北豊島公民館を地域住民相互の交流等の拠点として開放し、健康と福祉の増進、文化教養の向上を図る	・休館状態であった	・コミュニティの場、ボランティア活動の中心施設として再利用	・地域の諸団体からの利用等により健康、福祉等の向上に寄与する
公園バスケットコート整備事業	3,120,000	2,856,000	豊島東公園内にスリーオンスリーのバスケットコートを整備し、スポーツを通じたコミュニケーション、子どもの健全育成を図る	・高架下の立地条件下で子供達の利用が少ない	・スポーツを通じコミュニケーションと子供の育成を図る	・子供達に喜ばれ、スポーツを通じて健全な育成に寄与する
計	6,865,109	6,147,591				

秦野地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
コミュニティ紙等発行事業	・各種会合において、コミ紙の活用機会を増やす	・各部会毎でまとめる ・役員会、協議会で最終まとめを行う	・ギャラリーの展示は住民間のコミュニティにつながった また、夜間照明としての役割も果たしており、防犯にも寄与している ・地域ぐるみの交通安全運動は短期間で効果を得られた ・各部会活動は住民の参画への機会を増やし、制度の周知につながっている	地域ギャラリー設置事業と連携した取り組みが高く評価できる なお一層の制度周知に期待する	総合政策部 政策推進課
地域ギャラリー設置事業	・協議会の事業として更なるPR ・出展作品を増やす			地域コミュニティの核として、一端を担っている 今後のコミュニティの更なる発展を期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
交通安全看板等設置事業	・学校関係者と一緒に取り組む ・自転車に対する対応策の検討 ・看板の盗難防止と解決方法			協議会による広範囲の現場調査がなければ、この短期間でこれだけの箇所に設置は行えないものであり、思い切ったスピードとボリュームの事業であった 今後は、設置した安全看板等を活用した、交通ルール・マナーの向上に期待する	都市建設部 交通課
交通安全看板等設置事業					都市建設部 道路課
街路灯強化事業	・地域住民の意見を聞き取り進む			街路灯の器具交換・照度アップにより、地域内の夜間交通の安全確保が図れている	都市建設部 道路課

北豊島地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
安心・安全な地域づくり備品整備事業	・地域住民の参加による防犯意識の向上。今後は防災活動にも目を向ける	・役員がまとめを行う	・拠点の開設は活動の広がりにつながっている ・なお一層、地域住民に活動内容を周知し、事業を通して住民の協議会活動への参画を促していただきたい ・バスケットコートは夜間使用に対し、周辺住民からの苦情が寄せられたが、地域での解決に努力された	防犯・防災のための適切な備品を配備することが出来た 今後地域内の防犯・防災体制の強化につながることを期待する	市長公室 危機管理課
コミュニティ紙等発行事業	・読んでいただける紙面の工夫と改善策			多面的な協議会の取り組みが紹介されている また、地域の広告を取り入れる工夫がなされている なお一層の制度周知に期待する	総合政策部 政策推進課
旧北豊島公民館地域活用事業	・地域住民が楽しめる。活気ある施設の運営に取り組む			事業の開始は平成21年度から 20年度は事業実施に向けた会館の修繕・改修等を行えた	総務部 総務課
公園バスケットコート整備事業	・深夜利用者の騒音等で周辺住民からの苦情あり・施設管理の強化策を実施 (21年度)			事業に対する近隣住民からの苦情があったものの、地域の皆さまに公園行政(管理)の難しさを少しでも理解していただけたことは大変意味があった 公園は利用者のためのものであるため、今後も利用者(協議会)の意見を尊重し、足並みを揃えて進めたい	都市建設部 みずとみどりの課

五月丘地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
コミュニティ紙等発行事業	41,000	12,258	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民の理解と支援を得るため、広報紙等を発行する	・各団体からの情報のみ	・協議会活動周知を図るため5回発行	・一定の周知効果を得る 更に活動周知が必要
休憩施設設置事業	913,000	3,654,000	急坂の続く(通称)やま桜通り沿いにベンチを設置し、憩いや語らいの場として、住民相互のコミュニケーションを深めるスペースとする	・長い坂道が続く「やま桜通り」に休憩所が無い ・アンケート調査で設置希望者が85%あった	・民有地(UR機構)内に設置	・高齢者から幼児まで、幅広い地域住民の憩いの場となる
公園時計設置事業	965,000		塩塚公園内に時計を設置し、子どもたちに帰宅時間を意識させながら安心して遊べるようにする	・整備されたが時計が無かった	・両面から見える時計	・児童等が約束(帰宅)時間まで安心して遊んでいる
公園安全対策事業	1,514,000		山之手公園内の階段等に手すりを設置し、転倒防止を図る	・住民の高齢化が進み、施設内通行に不安を感じる	・階段に手すりを設置する	・安心して登り降りができる
公園灯強化事業	580,000		夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、山之手公園に照明灯を設置する	・街路及び公園灯の照度のバラツキがある	・適切な照度バランスの確保	・街が明るくなり住民から喜ばれている
昆虫育成等講習会実施事業	350,000	350,000	五月山をカブトムシ等昆虫が生息できるための環境整備や昆虫を育成する講座を開催し、親子のふれあいの場を提供する	・自然の恵みに立地する地域 ・自治会単位のコミュニケーションのみ	・地域の特性を生かした住民間のコミュニケーション ・カブトムシの育成を通じた親子ふれあいの実施	・協議会活動の周知と若年層の関心を高める ・流通企業系の活動支援を得る ・約500名の参加
街路灯強化事業	1,762,000	1,376,500	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	・街路及び公園灯の照度のバラツキがある	・適切な照度バランスの確保	・街が明るくなり住民から喜ばれている
計	6,125,000	5,392,758				

くれば地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
地域イベント支援事業	1,500,000	1,495,400	校区全体の盆踊り大会を開催することにより、地域の人と人のつながり、活性化を促す	・各所で盆おどりを実施	・校区全体の催しであったので、地区間の一体感と活気が生まれる	・各自治会等との連帯感が生まれた
街路灯強化事業	5,125,000	4,009,489	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	・街路灯の配置が不均等 ・ひったくり等の被害が多く発生 ・青色灯使用の意見調整	・青色灯の効果と照度アップで被害減少	・住民の防犯意識を広めることができた
計	6,625,000	5,504,889				

五月丘地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
コミュニティ紙等発行事業	・若年層の参加を得る工夫と取組み	<ul style="list-style-type: none"> 各部会毎でまとめる 協議会で最終まとめを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの住民に参加を得る為の工夫と周知方法に努力された 坂道の多い地域の共通の課題に積極的に対応された 親子ふれあい事業などを通して若年層の協議会活動と地域分権への関心を高めている 	多くの住民の参加を得る為、地域住民への周知に努力された なお一層の協議会活動周知を図るため、発行回数を増やすことも検討されたい	総合政策部 政策推進課
休憩施設設置事業	・設置箇所を増やしたい			民有地への設置であり、今後の維持管理について調整が必要 今後、公園内への設置提案があれば、積極的に対応していきたいと考える	都市建設部 みずとみどりの課
公園時計設置事業	・メンテナンスに配慮(蓄電池等)			公園利用者の利便性が向上したといえる ただし、今後、メンテナンスに対する財源の確保が必要	都市建設部 みずとみどりの課
公園安全対策事業	・地形上必要な所が残っている			起伏のある地域であり、高齢者等への安全配慮として、今後 も必要な事業といえる	都市建設部 みずとみどりの課
公園灯強化事業	・従来型との差がでる ・目的と効果を明確にしてブルーライト等も含め検討したい			公園利用者の利便性向上とともに、安全性の更なる向上に 寄与する重要な取り組みであると思う	都市建設部 みずとみどりの課
昆虫育成等講習会実施事業	・活動範囲を広め地域間の交流を図りたい			共同作業により、住民間のコミュニケーションが図れた 今後、講習会等による他地域との交流を通じて、里山保全の 意識付けの拡がりに期待 育成ベッドの存続には毎年継続的にパークチップの追加が 不可欠で、財源の確保が必要 今後は廃棄物(幼虫のフン)処理の課題も	都市建設部 みずとみどりの課
街路灯強化事業	・従来型との差がでる ・目的と効果を明確にしてブルーライト等も含め検討したい			街路灯の新設・照度アップにより、地域内の夜間交通の安全 確保が図れている	都市建設部 道路課

くれは地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
地域イベント支援事業	・継続して開催したい	<ul style="list-style-type: none"> 役員会でまとめを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 街路灯強化事業は住民の防犯意識を高めた 地域イベントは地域の人をつなぐを強化し、一定の 効果が見られた 継続的な取組みを視野に更なる検討を 	地域のイベントに寄与している しかし、継続にはレンタルではなく備品購入も視野に検討願 いたい	市民生活部 観光・ふれあい課
街路灯強化事業	・未設置地域の解消 ・防犯灯設置事業の継続			街路灯の器具交換・照度アップ等により、地域内の夜間交通 の安全確保が図れている	都市建設部 道路課

石橋地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
安心・安全な地域づくり備品整備事業	110,000	109,475	防犯・防火の地域巡回や登下校時の声かけ活動等に必要な備品を整備する	・ひったくり等の犯罪が多発・巡回者の身分表示するものが無い	・巡回活動のための備品等の購入	・防犯、防火活動がしやすくなった
コミュニティ紙等発行事業	300,000	300,000	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等への地域住民の理解と支援を得るため、チラシ・ミニコミ紙の発行、アンケート調査等を行う	・協議会の活用内容を地域住民に周知する手段が無い	・3回発行、掲示板にも掲示	・発行を重ねる毎に関係者等に地域住民の反響が伝わる
地域掲示板設置事業	1,300,000	1,293,600	地域広報活動の拠点となる案内掲示板の設置箇所を充実させる	・各団体が設置されたものがある	・公、私有地内に7ヶ所設置 (H20年度)	・効果はこれから現れる ・営利目的とするものは掲示させない規定をつくる
地域イベント備品整備事業	240,000	239,190	地域イベントを実施するさいに必要な、行事用備品を整備する	・学校からの借用でまかなう	・地域行事の規模等に対し柔軟な対応ができる	・学校側と地域がより緊密になった
AED配置事業	310,000	299,250	地域行事等の傷病者発生時に、早期の救命措置を行うためにAEDを配置する	・学校内への配備のみ	・共同利用施設に配備	・地域行事等に即時対応できる
ガーデニング教室開催事業	100,000	100,000	「花を育て心が潤う」町をめざし、園芸の専門家によるガーデニング教室を開催することにより、地域コミュニティの輪を広げる	・ガーデニング教室の開催により、地域のコミュニティの輪をひろげる(目的)	・参加者は花づくりを通じて講師からの指導を受け盛り上がる	・校区内居住者の指導であったため満足度が高い
街路灯強化事業	316,000	302,214	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	・ひったくり等の犯罪が増える	・器具劣化による照度不足の改善が図られる	・安全、安心の夜間通行が出来る
道路安全対策事業	3,599,000	3,594,150	(通称)池高道にグリーンベルト歩道帯を設けることにより、歩行者・運転者の安全意識の向上を図る	・学校、福祉施設が点在する主要な路線 ・道路幅が狭く、歩車輻湊する非常に危険な状況にある	・路側帯(幅約1.0m)の部に歩道帯としてグリーン色を施し通行区分を明確にする	・車速の減速、歩行者・自転車通行の改善等安全認識を高め交通のモラル向上が見られた
教育問題等講演会開催事業	100,000	100,000	身近な教育問題、子育て問題等のミニサークル的な講演会を開催することにより、地域コミュニティの輪を広げる	・子供の能力と健康について不安をもつ親が多い	・2回開催(65名参加) ・見方によっては多様な考え方があることがわかる	・子供の将来について不安をもつ親に研修を通して参考になった
計	6,375,000	6,337,879				

石橋地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
安心・安全な地域づくり備品整備事業	・ボランティア人材の安定確保	・各部会毎にまとめる ・協議会、役員会で最終まとめを行う	・学校・福祉施設が点在する道路を利用者の目線で改善整備された ・利用者の安全意識・交通モラルの向上につながっている ・多くの事業への住民の参画が、制度の周知につながっている ・協議会活動への参画につなげていただきたい	備品を配備したことで、防犯・防災活動がしやすくなったという地域の評価があり、成果があったと考える	市長公室 危機管理課
コミュニティ紙等発行事業	・掲載内容、配付方法等の検討 ・制度と活動周知に努める			協議会の多面的な取り組みを写真を用いてわかりやすく紹介されている また、地域の歴史・文化を紹介するなどの工夫がされている なお一層の制度周知に期待する	総合政策部 政策推進課
地域掲示板設置事業	・地域内の配置バランスを配慮にして増設する			地域コミュニティの核として、一端を担っている 今後のコミュニティの更なる発展を期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
地域イベント備品整備事業	・関係機関と連携をとりながら有効な活用を目指す			地域のイベントに寄与している また、学校への借用など、更なる交流を期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
AED配置事業	・順次配備を考える			利便性の良い共同利用施設井口堂北会館に配置し、またキャリーバッグをセットで購入することにより、地域行事等に持ち出して対応できるようになっている	保健福祉部 健康増進課
ガーデニング教室開催事業	・花を通して、地域コミュニティのひろがり考える			住民間のコミュニケーションと花づくりのきっかけづくりができた 今後、継続的な実施により、地域住民の市街地緑化の意識高揚と街のみどりの拡がりに期待する	都市建設部 みずとみどりの課
街路灯強化事業	・通行者と農業者との調整を図りながら事業の推進を図る			街路灯の新設・照度アップにより、地域内の夜間交通の安全確保が図れている	都市建設部 道路課
道路安全対策事業	・多くの市民が利用する 更なる延伸が必要 ・道路舗装の老朽化が目立つ			歩行者の通行帯が確保されたことにより、安心感が向上し一定の効果が確保されたと考えている 歩行者、自転車など道路交通の安全意識、交通モラルの更なる向上を期待する	都市建設部 道路課
教育問題等講演会開催事業	・地域社会と共に考える面が多い ・予防接種、健康について、今後注意を払う			教育問題等の研修会を地域住民が主体になり企画・立案して取り組むことは、地域の具体的なニーズに対応して効果的である	教育部 教育研究所

石橋南地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
防犯カメラ設置事業	5,817,891	5,005,844	小学校周辺・空港地下道に防犯カメラを設置することにより、犯罪の未然防止並びに子どもの安全確保を図る	・地下道に落書き、ゴミの投棄がある	・防犯抑止力と不法行為等無くなった	・犯罪等発生事実が無い(達成感100%、満足感80%) ・規約を定め、相乗効果がめばえた
街路灯強化事業	442,000	407,350	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	・夜間照明状況の実態調査を行ったところ、暗く街路灯の必要性を感じた	・明るくなり地域住民から安全安心との声を聞く	・犯罪等発生事実が無い(達成感100%、満足感80%)
計	6,259,891	5,413,194				

鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
防災備品整備事業	568,000	568,000	災害発生時の非常用照明・炊き出しに使用するための発電機を整備する	・災害発生時等に対応する手段が無かった	・2自主防災組織団体に備品を配置	・災害発生時等に対応できる また、防災訓練等にも利用できる ・発電機は非常時の電力を確保
地域掲示板設置事業	2,080,000	2,068,500	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民に知らせるための掲示板を設置する	・地区内の掲示板は各種団体や自治会等の特色を生かした利用をされている	・従来の掲示板の設置空白地区を補う ・各種団体等にも利用頂く	・地域の情報掲示板としての役割を果たしている
地域イベント支援事業	1,040,000	1,020,109	菖蒲まつりのプログラムとしてふれあい動物園を開園し、子どもたちが小動物にふれあう機会をつくるとともに、地域の文化事業の充実を図るため、新たにふれあいフェスティバルを開催する	・子供達の小動物とのふれあい(ふれあい動物園) ・音響設備費用が無かった(ふれあいフェスティバル)	・会場案内の充実によりスムーズな誘導が可能となる	・生命の大切さと動物をより身近なものに感じてもらえた ・入場者数が2~3割増加 ・スタッフ数の増加
AED配置事業	930,000	897,750	傷病者発生時に早期の救命措置を行うため、AEDを配置する	・救急車到着までの対応措置が出来なかった	・3台配置(共用利用施設他)	・対応設置の拠点が出来た ・地域行事への貸出も可能
計	4,618,000	4,554,359				

石橋南地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
防犯カメラ設置事業	・監視巡回活動24時間体制の強化が必要 ・役務費の支弁制度化の検討	・各分会毎でまとめる ・会長が最終まとめを行う	・防犯カメラ設置後、犯罪が無いことから、一定の成果があったと考えている 引続き有効な取り組みを検討されたい ・なお一層、地域住民に活動内容を周知し、事業を通して住民の協議会活動への参画を促していただきたい	防犯カメラ設置後、犯罪等発生事実が無いということから一定の成果があったものとする	市長公室 危機管理課
街路灯強化事業	・きめ細かな街路灯の配備			街路灯の新設・照度アップにより、地域内の夜間交通の安全確保が図れている	都市建設部 道路課

鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
防災備品整備事業	・更なる防災器具を充実する	・各分会毎でまとめる ・協議会で最終まとめを行う	・住民の安全・安心をテーマに関係備品等の調達を図られた 今後、防災訓練等住民の参画機会を増やし、意識の向上に努められたい ・地域イベントから協議会活動への参画につながっている	防災のための適切な備品を配備することが出来た 今後、万が一災害が発生した時に使いこなせるよう期待する	市長公室 危機管理課
地域掲示板設置事業	・協議会への参加や事業PR及び各種団体等の情報発信を広めたい			地域コミュニティの核として、一端を担っている 今後のコミュニティの更なる発展を期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
地域イベント支援事業	・3年後の自主行事への実施方法を検討する ・地域住民からの出演者を募り、内容充実を図る			ふれあい動物園は、子供達に人気である。	市民生活部 観光・ふれあい課
AED配置事業	・救命講習等の実施と配置箇所を増やす			地域内の共同利用施設等に3台を適切に配置することにより、もしもの時の対応により迅速に対応できる またキャリーバッグをセットで購入することにより、地域行事等に持ち出して対応できるようになっている	保健福祉部 健康増進課

神田地域コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
安全パトロール実施事業	900,000	885,470	地域の安全・安心の向上のため電動自転車を購入し、地域パトロールを行う	・通学路を中心に登校時のパトロール	・電動自転車で下校時のパトロールを実施するようになった ・安全パトロール隊(14名)	・パトロール実施が認識され防犯意識の向上に役立つ
水路転落防止柵設置事業	1,000,000	840,000	水路の危険(転落等の可能性の高い)箇所に対して、転落防止柵や安全ネットカバーなど安全対策を行い転落等の防止に努める	・農業用水路の転落防止柵のない所が多い(PTAアンケート調査で指摘)	・江原川の橋周辺、小学校周辺の水路に設置	・転落の危険は減少する
街路灯強化事業	4,600,000	3,921,414	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、防犯灯や街路灯の充実を図る	・夜間パトロール関係団体より街路灯不足及び照度不足の指摘	・校区内の夜間が明るくなった	・防火等への牽制効果が出ている
計	6,500,000	5,646,884				

伏尾台コミュニティ推進協議会

事業名	予算額(円)	執行額(円)	事業概要	実施前の状況	実施後の状況	事業の効果
安全パトロール実施事業	1,725,000	1,545,094	地域の安全対策の向上のため青色パトロール車を購入し、地域パトロールを行う	・市・警察の通常巡回のみ ・連続して空き巣事件が発生する	・小学校の登校日に4回/日巡回する。空き巣事件が減った	・地域住民の安全意識が高まり、住民間の結びつきが強まる ・声かけ・あいさつにより子供たちに安心感を与える
防災備品整備事業	1,800,000	1,294,723	災害発生時等の救助活動を迅速に行うため、災害用備品の分散保管及び充実を行う	・小学校に備品等が設置されている。品揃え不十分と緊急時には不便を感じる	・地域内に3箇所配備。緊急時の体制が整った	・身近で充実した備品が整備されたので安心感が得られた
地域掲示板設置事業	280,000	152,250	コミュニティの向上と地域活動の周知等のため、伏尾台センターバス停付近に掲示板を設置する	・伏尾台センターバス停になかった	・地域中心地で、目立つ場所に設置される	・多くの人の目にふれることとなる
AED配置事業	620,000	598,500	傷病者発生時に早期の救命措置を行うため、AEDを配置する	・学校に設置されている	・民間施設(コープ、阪急バス営業所)に配備することで使用しやすくなる	・身近な施設に設置されることで安心感が得られる
緑化事業	600,000	525,000	伏尾台3号遊水池に桜の植樹を行い、コミュニティ環境の向上と景観整備を行う	・緑に恵まれているが、桜の樹木がなかった	・目立つ場所に植える	・地域住民や来街者のこころを和ませる
休憩施設設置事業	572,000	548,100	コミュニティや休憩の場として伏尾台センターバス停横にベンチを設置する	・福祉バス停にベンチが無い	・休憩が可能になった	・利用者以外の方の使用も見受けられる
計	5,597,000	4,663,667				
合計	68,523,000	60,349,525				

神田地域コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
安全パトロール実施事業	・ボランティアの増員が必要 ・パトロール隊の統一化の工夫を(帽子など)	・協議会で最終まとめを行う	・住民主体の安全パトロールは地域内の防犯意識を高める効果が得られるため、継続することが重要 ・なお一層、地域住民に活動内容を周知し、事業を通して住民の協議会活動への参画を促していただきたい ・水路転落防止柵の設置は歩行者の安全確保が図られた	地域内の防犯意識が向上した 今後犯罪の発生が減少することを期待する	市長公室 危機管理課
水路転落防止柵設置事業	・危険箇所が多い。優先度を考慮して継続実施する			歩行者の安全確保が図られた	都市建設部 みずとみどりの課
街路灯強化事業	・未実施箇所の整備が必要 ・設置時トラブルの調整が必要			街路灯の新設・照度アップにより、地域内の夜間交通の安全確保が図れている	都市建設部 道路課

伏尾台コミュニティ推進協議会

事業名	今後の課題等	協議会における評価方法	市の総合評価	市担当課の評価	市担当課
安全パトロール実施事業	・活動の継続、隊員の確保と運営方法の簡素化	・役員会でまとめを行う	・住民主体の安全パトロールは地域内の防犯意識を高める効果が期待できる 継続できるよう関係者を増やし、地域全体で見守る体制づくりを ・住民の安全・安心確保のための関係備品が調達された 今後、訓練などを通じて、住民の意識向上に努められたい ・地域住民の目線に立って休憩施設を設置された	空き巣事件が減少したことから、一定の成果があったと考える	市長公室 危機管理課
防災備品整備事業	・地域住民への周知と管理上での問題			防災のための適切な備品を配備出来た 今後、万が一災害が発生した時に使いこなせるよう期待する	市長公室 危機管理課
地域掲示板設置事業	・維持管理(現在、地区福祉委員会へお願いしている)			地域コミュニティの核として、一端を担っている 今後のコミュニティの更なる発展を期待する	市民生活部 観光・ふれあい課
AED配置事業	・定期的な点検と地域住民への設置場所及び使用方法の周知			利便性の良い施設、及び住民の目に触れやすい施設に配置することにより、AEDという存在をより身近に感じることができ、かつ安心感を得ることができている	保健福祉部 健康増進課
緑化事業	・維持管理費の取り扱いの明確化			植栽地の土壌等の条件が悪いため、場所により、今後数年は樹勢の強化は期待できないが、住民によるこまめな樹木の状況把握と管理対応が必要 将来的には、桜花の好景地となるよう期待	都市建設部 みずとみどりの課
休憩施設設置事業	・屋根付となれば高額となるため、関係者の意向を集約して慎重に考える必要がある			地域分権提案事業の趣旨から見ると、地域の意見をできるだけ考慮し、縦割り行政の枠を取り払って行った事業としてはよいと思うが、管理者等(所有者、隣接者)、事業者(行政)、提案者(協議会等)の間で、事前に協議することが必要と感じた特に管理主体については十分協議が必要	都市建設部 みずとみどりの課